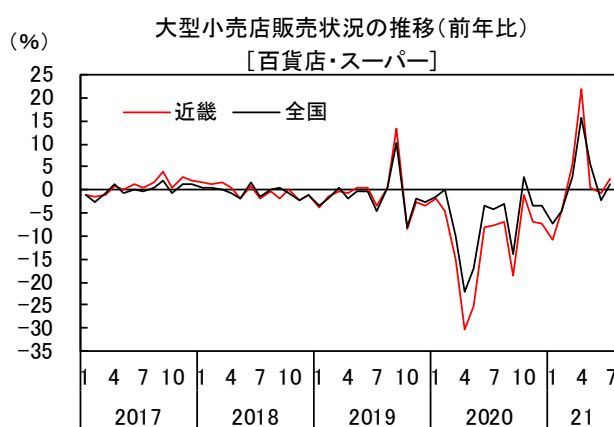
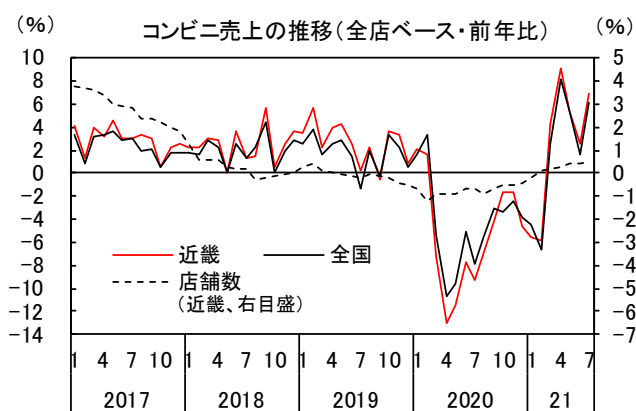


## 関西の景気トピックス【消費関連（21年7月）】

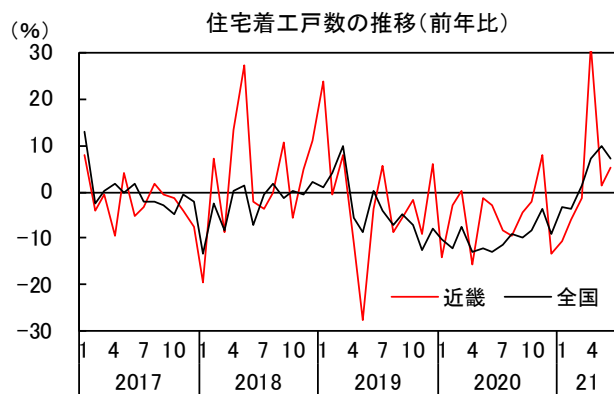
- 21年7月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比プラス2.4%と2か月ぶりの増加となっている。ただし、依然として感染が続く中、2年前比ではマイナス（-5.7%）が続いている（業態別には、百貨店が6.0%増、スーパーが0.4%増）。
- コンビニ売上（経済産業省）の7月は、全店ベースで前年比プラス7.0%と5か月連続で増加した（2年前比は-3.0%）。こちらも主に前年の落ち込みによる反動で、増加が続く形となっている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の6月は、前年の反動もあり、前年比プラス5.4%と3か月連続の増加となった。内訳としては、持家、貸家が増加となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向は、大阪は直近で前年を上回る動きが続いているが、前年の反動による部分が多い。2年前比ではマイナスとなるなど、本格的な回復にはまだまだ時間がかかるとみられる。



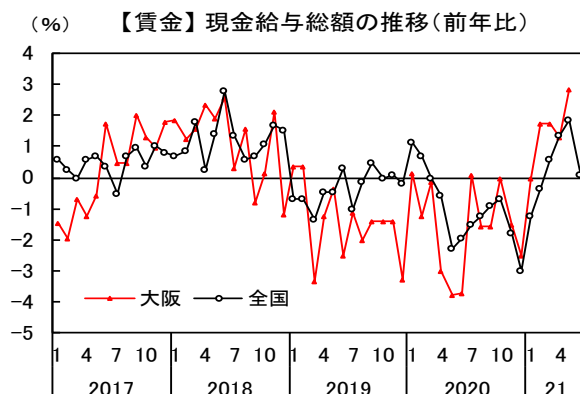
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」